

# 輝け瞳

2021 9月号①

発行:宇治久世教職員組合  
宇治市大久保町上ノ山29-1  
TEL:0774-44-6191  
FAX:0774-44-8026  
Mail:ujikuse@khaki.plala.or.jp  
HP:https://www.ujikusekyoso.com/

## 市教委交渉速報

### 宇治市教委交渉 (7/27)

#### コロナ対策、超勤是正、労働条件改善

市教委から教職員の超勤実態は、コロナの影響もあり、超過勤務時間は減少傾向にあるものの、平均して小学校で34時間、中学校で48時間(2020年度、月平均)の超過勤務があることが示されました。交渉団は、超勤縮減には仕事を減らすことが必要だが、当面一週間の持ち時間数を一つの指標にし、せめて1日に1時間の空き時間が作れるような人員配置を市独自でもするよう要望しました。



また、市教委は講師未配置問題について、7月21日時点で小学校3校、中学校で少なくとも3校で未配置が生じていることを明らかにしました。交渉団は「許されないこと」だとして一刻も早く解消するよう強く求めました。

コロナ対策には今年度も予算が付いており、学校で必要な物を購入できるので、各校から希望を挙げてもらえば、使えるかどうかを判断したいと表明がありました。交渉団からは、「校長に対して職員の意見を積極的に聞くように指導すること」や「学校でのクラスターが発生していないのはあくまで結果論」で、児童・生徒・職員に感染対策を要求するだけでなく、PCR検査を広く行うことやパーテーションをつけるなど、対応を積極的にするよう要望しました。

#### 少人数学級について 市は少ない人数が良いと考えていると表明!

宇治市では今年度小学校6校、9学年が「36人以上学級」になっており、40人ギリギリの学級数は7つあります。交渉団は他市で実現している小学校全学年の「35人学級」について宇治市でも早急に実現するよう求めました。市教委は「少人数授業を優先させているわけではなく学校の意向を尊重する」「少人数学級が望ましいのは当然」と表明しました。

また、市教委は児童40人に対して、教室の広さ(8m×8m)は決して広いとは言えないと表明しました。交渉団は「1クラスの人数を減らすことが、教育の保障とコロナ対策に最も有効なこと」だとして、壁にギリギリ机を置いていることやエアコンが多くの児童の熱気で効かないことなどを訴えました。方針として35人以下学級をめざすよう強く要望しました。

さらに、エアコンの効きが悪い学校については昨年から早急に対応するよう求めてきたにも関わらず、今年度に改善されていないことは非常に遺憾だと訴えました。

特別支援学級の定員についても問題だと訴えました。定員は8名ですが、複数学年にまたがったり、一人の持つ課題が大きかったりすると、今の定員では個別に対応しきれません。京都府は実態に応じて対応するので、7人でもまず相談してほしいと表明していると伝え、市教委として柔軟に対応するよう訴えました。

#### 校務支援のシステムの使用制限時間を柔軟にするよう強く要望

市教委は自宅での勤務を増やしてしまうような使用時間制限緩和は立場上できないと表明。しかし、交渉団は、例えば時短勤務の人が勤務時間中でも帰宅後自宅から校務支援システムにアクセスできれば、仕事の負担感が減るとの要望があると伝え、個々の仕事のスタイルに合わせて柔軟に仕事ができるように配慮すべきだと訴えました。



また、iPad導入に伴い、コンピュータ室をなくすという動きがあることに関しては「PCは撤去する方向だがコンピュータ室をどうするかはまだ決まっていない。現場の実態をつかんでから」との回答でした。交渉団は、コンピュータ室はiPadで代用できないことがあったり、授業以外にも様々に利用されてたりしているので、くれぐれも安易につぶすようなことがないようにと要望しました。

# 輝け瞳

2021 9月号②

発行:宇治久世教職員組合  
宇治市大久保町上ノ山29-1  
TEL:0774-44-6191  
FAX:0774-44-8026  
Mail:[ujikuse@khaki.plala.or.jp](mailto:ujikuse@khaki.plala.or.jp)  
HP:<https://www.ujikusekyoso.com/>

## 城陽市教委交渉 (7/29)

### 研修時間のあつかいについて

1学期にあったNTTのオンライン研修について、休憩時間を含んで5時過ぎまで行われたことへの見解をいただきました。

市教委は、相手のこともありやむを得ず休憩時間に研修が入ったこと、また、5時を過ぎたことについては申し訳無いと謝罪しました。2回目についても指示文書が誤解を招き、全員対象ではないのだが学校によっては全員になったとも聞いている。今後についてはそのようなことがないようにしたいと表明しました。交渉団は、「回復措置の指示を校長を通して行う」ことや「市教委主催の研修での休憩時間確保の徹底」について再度強く申し入れました。



### 時間外勤務の縮減について

市教委は超過勤務時間については例年と変化がないという認識を示しました。勤務時間の縮減について校長会に話はしているとしました。交渉団は、超勤縮減には仕事量を減らすことが必要だが、当面一週間の持ち時間数を一つの指標にし、せめて1日に1時間の空き時間が作れるような人員配置を市独自でもするよう求めました。市教委は市独自では困難で、今後の国の動向によるとしました。交渉団は、学校によって持ち時間数にばらつきがあることを指摘し、持ち時間数を減らす方向での取組を進めるよう強く要望しました。市教委は今後、教務主任会や校長会に持ち時間数を念頭に入れた工夫をするように伝えると表明しました。

## コロナ予算・感染対策について

市教委は、国からのコロナ予算については、今年度も子どもの数に応じて校長裁量で使え、各学校に必要な物をまとめてもらっている。宿泊学習時の看護師配置については、学校ごとに要望出してもらえば予算執行が可能かを検討する。また、保健所との関わりについては、北保健所との連携を積極的にとり、情報共有しながら対応が早くできるようにしている。と表明しました。交渉団からは、たまたまクラスターが発生していないだけで、PCR検査の定期的な検査など積極的な感染対策を要望しました。特に全市研修などはオンラインを活用して感染リスクを減らすように強く申し入れました。

## パソコンのシステムについて

交渉団は配布されたUSBが小学校で6本、中学校で10本では到底足りていない。仕事の効率化に役立っていないと強く指摘しました。また、各校に配分されているサーバーの容量が少なすぎることを強く指摘しました。市教委は、苦しいのは分かっているが使いやすいシステムになるよう研究中でもう少し待ってほしいと回答しました。職場でしかPCを使った作業ができないことは、特に子育て中や時短勤務の教職員にとっては、負担感が大きいです。交渉団は、個々の仕事のスタイルにあったシステムの導入を早急にすすめるように強く訴えました。

## 特別教室のエアコンについて

市教委は、特別教室のエアコンについては、トイレ改修をしながら予算が余り、キュービクルの余裕があるところに限り設置できないか研究をし、使用頻度のことも考えて少しでも設置できるように考えている。と表明しました。交渉団は、エアコンを整備し、児童生徒が暑い中で教育を受ける状況を極力回避させるのが行政の責任だとし、早急に取り組んで欲しいと要望しました。

教職員を守る「京教済」  
に加入しましょう！

